

人権だより あかまっ子

平成30年6月
赤麻小人権教育係

☆ 標語でたくさんの思いやり

全校生に小さな親切運動の標語を募集しました。ご協力ありがとうございました。思いやりの心が詰まった作品がたくさん集まり、読むだけで心がほのぼのするものばかりです。その中のいくつかをご紹介します。

子どもたちの標語より

はい どうぞ やさしいことばで えがおになるね (1年)

やさしいきもちを わすれずに

みんなで たのしく 学校生かつ (2年)

親切で えがおいっぱい 広がれ広がれ (3年)

あいさつで 明るいえがおの 花がさく (4年)

その言動 相手の気持ち 考えよう (5年)

やさしさは 平和な世界の 第一歩 (6年)

「小さな親切」とは？

思いやりの心に満ちた明るく住みよい社会を築くことを目指し、一人一人の生活の中に「小さな親切」を広げようとする取り組みです。

えっ？ホント!? 世界のなるほどね！

日本では、くしゃみが出ると「誰かがうわさをしている」と言われることがありますが、イギリスでは、くしゃみが出ると「悪魔にとりつかれる」とされています。

<解説> イギリスでは、くしゃみが出ると「悪魔にとりつかれる」と考えられています。そのため、誰かがくしゃみをする「Bless you (ブレス ユー)」-神様があなたを守ってくれますように-と声をかけます。



日本では、正月におせち料理を食べますが、中国では、正月のお祝いにギョーザが食べられています。

<解説> 中国では、ギョーザは「子どもをさずかる」ということばと同じ発音なので、子孫の繁栄を願って、年の始めにギョーザが食べられています。



日本では、つばを吐くことは、マナー違反とされていますが、ケニアでは、相手につばを吐いてあいさつします。



<解説> ケニアに住むキクユの人々の間では、つばは「悪いものから身を守ってくれるもの」とされています。このため、あいさつの時に「よいことが訪れますように」と親しい相手につばをかけ、心からの祝福を表します。

日本では、茶碗を持って食べるのが礼儀正しいとされていますが、韓国では、茶碗をテーブルに置いたまま食べます。

<解説> 韓国では、食器を持って食べることが「いやしい食べ方」として行儀が悪いとされています。



日本では、ハンカチはお礼やお祝いの贈り物の定番ですが、ブラジルでは、ハンカチは悲しい贈り物とされています。

<解説> ブラジルでは、ハンカチは涙をふくものなので、悲しみにつながるものとして贈り物にはさけるようです。

